



ふくしま県北事業所通信

齋藤事務所のIT通信

IT発信のツールをあらためて考える

企業やお店の発信ツールはいろいろありますが、自己紹介や会社案内の主なもの、昔からホームページでしょう。どういう事業をしていて、どういう商品を開発・販売して、設立はいつか、代表者は誰か、代表者の想いとは、企業やお店の場所はどこ……など。Googleマップや食べログなどの外部サイトもあります。自社のホームページに掲載するのが基本ですね。

次はブログでしょうか。ブログは「ウェブログ」の略称であり、筆者（ブロガー）の日記や想いを時系列で発信できるもの。アメブロやはてなブログなど、個人でも発信しやすいシステムが出てきたため、一気に普及しました。

現在の主流はSNSですね。Twitter、Facebook、Instagram、TikTokという順番で一気に普及していったと考えます。それぞれ共通する特徴は、フォロワーや友だちなど「繋がる」ための仕組みが出来たことです。先に書いたブログのアメブロも近い形は出来ていましたが、お互いの距離がより近くなったのがこのSNSです。

実はこのTwitterが出てくるずっと前に、日本でリリースされたSNSがありました。それが、mixi（ミクシー）です。リリースされた当時は招待制で、誰かから招待がこないアカウトを作ることができないという、今のSNSから考えるとだいぶハードルの高いものでした。現在は招待制ではなく、誰でも気軽に参加できる状態です。

最近のTwitterが、頻繁に仕様が変わったり、広告の表示が多くなったりと感じるようになってきたりと落ち着かないところもあり、今年に入ってからこの日本発のmixiが再注目されてきています。あまりオープンになっていない「コミュニティ」というツールが、実は良い距離感なのではないかと話題です。

mixiは二〇〇四年にサービスが開始され一気に拡大。その後他のSNSの普及もあり、二〇一〇年頃からユーザー離れが起きました。それから約一〇年後の今、再び注目されています。気になる方は、ぜひチェックしてみてください。

（ITコンサルタント
齋藤事務所代表 齋藤慎也）

おの設計の住まいとまちづくりコラム

施設入所による空き家が増加。早めの終活を

年度末が近いこの時期、町の空き家・空き店舗対策に取り組んでいる「桑折まちづくりネット」の空き家調査が行われます。桑折町での調査は、今年で七年目。【空き家トリアージ】という、空き家の状態に点数を付けて問題を「見える化」する形を採ってから三年目になります。

そうした調査の中で今回特に気になったのは、【高齢者のおひとり様やご夫婦で暮らしていた方が、高齢者施設に入所したため空き家になった】というパターンが、予想以上に多かったということ。いわゆる「空き家予備軍」と言われる高齢者のみの世帯については、早めに周知を図っていくべきだと以前から指摘されてきました。それがいいよ、真に迫ってきたという感じがしています。

毎年調査をしていると、以前の状態を何となく覚えていたもので、「ここは去年より状態が酷くなったな」「あ、前に来たときに開いていた窓がちゃんと閉まっている」など、状況の変化に気付くが多いです。今回は二年連続の大地震の影響もあり、既に解体され更地になっていたところもいくつか見受けられました。何とも寂しい限りです。

最近「終活」という言葉もあります。自分たちが暮らす家や実家について、その行く末を家族で話し合っておくことが大切です。ぜひお早めに。

（おの建築設計事務所代表
一級建築士 小野紀章）



空き家を所有しお困りの方

空き家を利活用したい方

ご相談はお気軽に！



桑折まちづくりネット

桑折町字北町66-2
024-572-5348
info@kooori-machizukuri.net



はじめまして！「そらいろデイ」です

「認知症」は治せないけど、機嫌は治せる！

「認知症にだけはなりたくない」。当たり前ですよ。好き嫌い。当たり前です。好んでなりたい人なんていません。でも、程度の差はあれ、皆さんいつかは認知症になります。理由は簡単です。認知症の原因は「古い」「自然」だからです。

こんなことを言うと、「え？認知症って病気でしょ。予防や治療ができるんでしょ？」と皆さんから質問攻めに遭いそうです。最近、製薬会社がアルツハイマー病の治療薬を開発しました。脳細胞に溜まった異常なタンパク質を除去する薬だそうです。この薬でアルツハイマー病は治るのかもしれないが、残念ながら老化による認知症になるんですね。

顔のシワを伸ばしても、白髪を黒く染めても、老いることには変わりはありません。身体機能が衰えるのと同様に、脳の機能も衰えます。これを昔は「呆け」「痴呆」と言っていました。「呆け」「痴呆」が侮蔑的な言葉だということから二〇〇四年、旧厚生省が「認知症」という言葉をつくりました。

それにしても、「呆け」や「痴呆」は侮蔑的な言葉でしうか？ 字面だけを捉えればそう言えるかもしれませんが、古くから風土に根付いた言葉だと思ふのです。「色ぼけ」「寝ぼけ」のぼけです。どこか滑稽で可笑しみのある言葉だとは思いませんか。認知症という言葉に変わってから、「呆け」「痴呆」は全て病気になってしまいました。

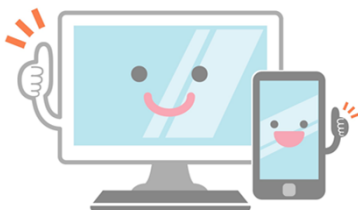


ところでそらいろデイには、その「認知症」のお年寄りが毎日来所されています。私たち介護職は医者じゃありませんから認知症は治せません。でも「認知症」のお年寄りの「機嫌」は治せるんです。認知症となったら人生は終わりですか？ 決してそんなことはありません。認知症になっても、笑顔で落ち着いて過ごせるよう関わっていく。それが「そらいろのケア」です。

(特定非営利活動法人そらいろ)

代表理事 石幡 亮

インターネット活用しましょう！



<ホームページ作成・運用>

まだ作っていない
作っているけど生かしていない

<Twitter等のSNSをビジネスに>

どのSNSを運用？
使い方がまだよく分からない
投稿を知ってもらうには？

お気軽に下記QRコードから
お問い合わせください

齋藤事務所

代表 ITコンサルタント
齋藤 慎也(桑折町)
<https://saitoshinya.com>



お陰様で創業100年



Facebook

たじまやSNS



LINE

大駐車場完備 営業時間/午前9時30分~午後6時30分

ふれあい散歩道

たじまが

ファミリーファッション 保原町中央商店街 ☎575-3186(代)



古民家介護



築110年の古民家で
のんびり ゆったり

一緒に働いてみませんか
職員さん募集中

NPO法人そらいろ

桑折町伊達崎吉沼19
電話024-582-3558
ryo.ishihata@gmail.com



発行元：ふくしま情報発信局 伊達支局（おの建築設計事務所 内）
住所：福島県伊達郡桑折町字諏訪40 - 22 TEL：024 - 582 - 3004
メール：main@fukushima-info.net

バックナンバー
はこちら

